

6月25日(火)

神様はどのようなお方か

聖書朗読 詩篇 68:1~10

イエスがすでにオリブ山のふもとに近づかれたとき、弟子たちの群れはみな、自分たちの見たすべての力あるわざのことで、喜んで大声に神を賛美し始め、
ルカ 19:37

あなたは自分自身をどのように定義しますか。あなたの役職や肩書ですか。出身地ですか。住んでる場所ですか。私達は、この物質主義の世界にあって、物理的な名前や肩書に興味を示しがちです。

古代社会において異教の神々は、しばしば風や海、収穫などをコントロールする具体的な力という観点から定義されてきました。しかし、私達の神、イスラエルの神は、歴史を通して何をされたかという観点から定義されます。

神は、全てを創造され、創造物を分かち合われ、ご自分の民を愛されました。神は民をエジプトから救い出し、導かれました。神はご自分の民を慰め、守られました。そして、神は民を救われました。神は民を赦し、恵みと憐れみをあふれんばかりに注ぎ、救い主イエス様を送って下さいました。

私達の祈りは、物に対するお願いや物に対する感謝から成り立っていることが多いです。私達が神を神であるゆえに褒め称えるとき、周りの人々が神と神のいつくしみを知る助けとなることができるのではないのでしょうか。ハレルヤ!神様は私達の王です。

讚美歌 130 よろこべや たたえよや

祈り 主よ。あなたのとこしえなる恵みを讃えます。私達が喜びをもってあなたを称える人生を生きることができますように。イエス様の御名により。
アーメン。



テキサス州 オースティン / セーラ・ジョーダン

6月26日(水)

神様はどれだけいつくしみ深いか

聖書朗読 詩篇 73篇

こうして彼らは言う。「どうして神が知ろうか。いと高き方に知識があろうか。」
詩篇 73:11

「主よ、どうして私がこんな思いをしなくてはならないんですか。」支払いのためのお金の工面に困った若い父親は言いました。日々の困難は、大きな危機に直面するより大変なことが時々あります。詩篇の作者は、彼の足がたわみそうで、彼の歩みは、すべるばかりだと認めています。なぜですか。それは彼が誇り高ぶる者をねたみ、悪者が栄えるのを見たからである、と彼は言いました。

時々、私達は世の中を見て、多くの人々は何の苦労もなく欲しい物全てを手に入れているのに、自分は正しいことをしようとしていて、何もうまいかないと思うことがあります。そして、他の人が持っていて、自分は持っていないものに固執するようになります。

他の人のプラスの部分と、自分のマイナスの部分はかりを秤にかけて、何が起きているのか神様は分かっているかと疑問に思うかもしれません。しかし、自分の状況をあわれむことは、私達を神様から急速に離れさせてしまいます。

私たちに二つの道があります。詩篇73篇21~22節で詩篇の作者がしたように、私達も目を覚まして、神様が私達の人生でしてくださっていることを讃えることができます。一方、自分の状況を哀れみ続けることもできます。霊的に落ち込んでいるときに、神様が自分の人生においてして下さったことをほめたたえることは

難しいでしょう。しかし、今日、それを乗り越えて、神様の御許みもとに避難し、神様があなたのためにしてくださったことを他の人に伝えましょう。

讚美歌 262 十字架のもとぞ

祈り 主よ、私の人生を支配し、何が起きているのか知っていてくださり、ありがとうございます。他の人を見るのではなく、あなたと光の中を歩むことができますように。イエス様の御名により、お祈りします。アーメン。

ニューメキシコ州 ポータレス / ゲイネル・トーマス

6月27日(木)

頂上からの眺め

聖書朗読 詩篇 74篇

あなたに向かって、私は目を上げます。天の御座に着いておられる方よ。

詩篇 123:1

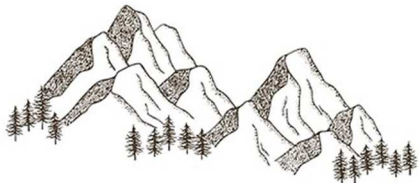
私は絶壁を登り、イリノイ川を見下ろしました。崩れそうな岩と土をよじ登りながら、足を茨でひっかけ、イラクサの不快感に悩まされ、深い藪の中に隠れている蛇に警戒しながら頂上目指して登って行きました。私はへとへとで、疲れ切っていました。しかし、上を目指して登り続けました。

頂上に近づくにつれ、美しく安らかな景色が目の前に広がりました。川は平野の中を曲がりくねって流れていました。緑豊かな植物は土地が肥えていることを示していました。私が立っている所のすぐ下を、そよ風に乗って鳥が静かに飛んでいきました。そこはもう藪がある大変な場所ではなく、美しい場所へと変わっていました。

今日の聖書箇所には、美しく聖なるものの廃墟を見た詩篇の詩人の絶望感が書かれています。彼の神はどうして助けてくださらなかったのか。神様は彼らを忘れてしまったのか。神様は彼らを思い出し赦されるか。しかし、目の前の景色から視線を上げ、神様を見上げたとき、詩篇の詩人は、もっと大きく、完全なすばらしい景色を見ることができました。神様はそこにおられたのです。神様は、創造物、自然、歴史、未来、あらゆるところにおられました。神様は彼らを見捨てられません。そして、これからも見捨てることはありません。

讚美歌 301 山べにおかいてわれ

祈り 私達の偉大で聖なる神様。私達が目を上げて、あなたの視線で世界を見ることができますように助けてください。あなたはいつも私達の側におられて、私達を見守ってくださっていることを知っています。キリストを通して、あなたに祈ります。アーメン。



テキサス州 ラボック / シャーロット・マイズ

6月28日(金)

自分から抜け出す

聖書朗読 詩篇 77篇

ああ、私はつまらない者です。あなたに何と口答えできましょう。私はただ手を口に当てるばかりです。一度、私は語りましたが、もう口答えしません。二度と、私はくり返しません。
ヨブ 40:4~5

自分をあわれむことを治す良い方法は、ホスピスやホームレスの施設でボランティアをすることです。誰かが病気で余命いくばくもないという事実を受け入れたり、大切な家族を失ったり、記憶を失っていくのを見たりすることは、人のあるべき目線に戻してくれます。自分をあわれむことは、“ちょっと立ち止まる”ことから始まります。私達は生きていく中で、少し考える時間が欲しいと思うような経験をしたことがありませんか。私達は皆知っていますが、自分のことを考えることは必要ではありませんが、そこで一人で自分のことを考えすぎると、自分をあわれむことに繋がってしまうこともあります。

詩篇77篇で、詩人は悩める自分を振り返り、それから主を見上げた時、主の偉大さを再認識したと綴っています。『苦難の日に、私は主を尋ね求め・・・私のたましいは慰めを拒んだ。』と悩める詩人は言いました。自分が望むように物事が進んでいない時、誰でもこのように感じたことがあるのではないのでしょうか。そういう時には休憩が必要です。

しかし、詩篇の詩人はずっと休んではいませんでした。彼は、神様がなさったことを思い起こすことで気持ちを切り替えることができました。信仰を回復し、自己に対するあわれみを打ち消すのに必要だったのは、神様の壮大なみわざを知ることでした。真に、『あなたは奇しいわざを行われる神』です。

讚美歌 285 主よ み手もて

祈り 親愛なるお父様。あなたが歴史を通して行われた偉大な御業を覚えると、私の心は回復し、励まされます。あなたの素晴らしい御力という輝かしい光によって、私の絶望感は去っていきます。イエス様の御名によって。アーメン。

カリフォルニア州 ローダイ / ブルース W・ローグ

6月29日(土)

敵と向き合う

聖書朗読 詩篇 83篇

しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着もやりなさい。 マタイ 5:39~40

イスラエルの讚美歌集とも言われる詩篇に、“全ての敵を殺してください、主よ”という歌があるのは奇妙だと思いませんか。私の日頃使っている讚美歌の目次を探してみても、不満、弁明、敵の排除などという項目は見つかりません。私の知っているほとんどの人は、もう一方の頬を向け、敵を愛しなさいというイエス様のみことばから始めました。でも、多くの場合、誰かに傷つけられたら、すぐに敵を愛するという気持ちにはなれません。酷い痛みと怒りを声に出さなくてはならない時もあります。

心強いことに、神様は私達のそんな行いを赦してくださいます。詩篇83篇で、イスラエルの民は言葉にならない痛みについて歌い、今日の私達にお手本を示しました。痛みを告白することは、敵を倒すということではなく、神様に問題を預けるということです。私達はもう一方の頬を向けることを求められますが、神様が私達の心の叫びを聞いてくださっていると知ると、もう一方の頬を向けるという行為はやりやすくなります。神様は『全地の上にありますいと高き方』なのです。

聖歌 347 いかにおそるべき

祈り 親愛なるお父様。時々、敵を打ちのめしたくなくるときがあります。私が弱い時、あなたが彼らを罰して私の正当性を証明してほしいです。でも、あなたが私の声を聞いてくださり、私は一人ではないと知ることだけで十分です。イエス様が十字架でして下さったことを思えば、私のつまらない不満は小さくなり、私は感謝します。私達の主イエス様を通して。アーメン。

カリフォルニア州 ローダイ / ブルース W・ローグ

6月30日(日)

ふうー

聖書朗読 詩篇 90:14

あなたの恵みを私は楽しみ、喜びます。あなたは、私の悩みをご覧になり、私のたましいの苦しみを知っておられました。 詩篇 31:7

最近、辛い日を経験しましたか。私が言うのは、忙しい普通の日ではなく、色々な困難がなだれ込んでくるような日です。困難は、病気であったり、経済的な危機であったり、霊的な絶望感であったり、社会的な拒絶であったりと、いろいろな形で訪れます。どんな困難があろうとも、私達のうちなる魂は、喜ぶことができます。なぜかという、神様はそのような時にも全てをご支配されているのです。とても大変だった日々がこれから、最高の勝利の日になることもあり得るのです。まず雲の中にいて、そこから抜け出した時、虹を手に入れることができるでしょう。

困難は、私達を神様から遠ざけることもできれば、神様が私達を強くする贈り物として下さったと受け取ることもできます。私たちに影がさしている時にも、太陽はどこかに顔を出しています。笑顔を祝日や記念日だけのためにとっておかないようにしましょう。今、笑顔になりましょう。大変かもしれないですが、今、あなたは生きています。神様はあなたに今日という日を与えられました。それをどうするかは、あなた次第です。あなたは、日々の困難に支配され落ち込むこともできれば、心の一新によって、自分自身を神様のご栄光のために用いることもできるのです。主に感謝しましょう。

『確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。』—コリントII 6:2

讚美歌 516 主イエスを知りたる

祈り 天のお父様。喜ぶ気にならないような状況にある時も、喜ぶように励ましてくださってありがとうございます。起きるか起きないかわからないようなものではなく、キリストにあって喜びを見つけることができるよう助けてください。キリストを通して。アーメン。



カリフォルニア州 ブライス
スティーブン・クラーク・ゴード